

## 第一生命経済研レポートテーマ（2005年1月～2月）

<p>2005年1月号 (通巻94号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時評</li> <li>・今月の内外景気</li>   <li>・今月の金融マーケット</li> <li>・中小企業アイ</li> <li>・経済トレンド</li> <li>・よくわかる経済指標</li> <li>・産業トレンド</li> <li>・セクター分析</li> </ul>	<p>窮地は脱したが、危機は続いている 日本経済 ～2005年の景気サイクル～ 米国経済 ～ドル安は双子の赤字削減の必要条件に過ぎない～ 日米経済の現状と6ヶ月後の方向性 2005年のマーケット考察 高まる停滞リスク 2004・2005年度日米アジア経済見通し 「家計調査」 存在感を増す自動車部品サプライヤー 産業別利益動向</p>
<p>2005年2月号 (通巻95号)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時評</li> <li>・今月の内外景気</li>   <li>・今月の金融マーケット</li> <li>・中小企業アイ</li> <li>・経済トレンド</li>   <li>・けいざい・かわら版</li> <li>・よくわかる経済指標</li> <li>・よくわかる介護保険</li>   <li>・産業トレンド</li> <li>・セクター分析</li> </ul>	<p>“経済実態と国民負担増” 日本経済 ～定率減税縮小の条件を考える～ 米国経済 ～利上げは慎重なペースで～ 日米経済の現状と6ヶ月後の方向性 債券市場が抱える「2008年問題」の意外な解決 目指せ中小企業立国 少子高齢時代に求められる生活関連社会資本の整備 ～都市部を中心に保育所・老人ホーム約1,000か所の整備が必要～ 「冬ソナ」ブームの経済効果 ～2004年度は日韓で約2,300億円～ 「GDPデフレター」 介護保険4年間の検証と2005年改革（その3） ～介護予防の推進と課題～ 活発化する素材メーカーの中国進出 産業別利益動向</p>

### 編集後記

3月 旧暦では「弥生（やよい）。草木がいよいよ生い茂る、「木草弥生（きくさいやお）い茂る月」の意味で、それがつまって「やよい」になったようだ。他にも早花咲月（さはなさづき）花見月など、文字通り草花が咲き出す季節らしい呼び方が多い。現代社会では年度の“終わり”のイメージが強いが、自然のサイクルでは一足早く春の“始まり”の月である。

3月といえば「ひな祭り」。ひな祭りは「桃の節句」と呼ばれ、その起源は平安時代（一説には奈良時代）にまでさかのぼる。古来、日本には五節句（人日、上巳、端午、七夕、重陽）という貴族にとって大切な五つのお祓いの行事があり、その中の一つ「上巳（じょうし）の節句」がのちに「桃の節句」となった。3月3日に定着したのは室町時代からで、それまでのお祓いのための紙人形ではなく、豪華なひな人形を飾って盛大にお祝いするようになったようだ。その宮中の行事が武家社会に広がり、やがて庶民の間でも女の子の厄除けと健康祈願のお祝いとして定着していった。

今日でも、ひな飾りの定番は赤い毛氈を敷いた「七段飾り十五人揃え」とされているが、何せスペースをとることから、都市部のマンションなどでは家具の上に簡単に飾れる、お殿様とお姫様だけの「親王飾り」やガラスケース入りセットなどの人気があるらしい。時代とともにひな飾りは少しずつ形を変えてきたが、娘の健やかな成長を願う親の気持ちは少しも変わっていないと、娘を持つ筆者も実感する。

( N . I )